

災害対応ロボット公開

NEDO 過酷な環境下で使用可

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)は二十日、「災害対応無人化システム研究開発プロジェクト」が今年度で完了するにあたり、開発した九分野のロボット技術(「写真上」)を千葉工業大学・芝園キャンパス内の共同研究施設で公開した。

同プロジェクトでは、研究所による過酷な環境下でも使用できる狭隘空間先行調査型で装置や重量計測機器搭載ができる装置などの小型高踏破性遠隔移動装置、日立製作所による過酷環境下で使用可能な汎用性の高い通信技術、東芝に



株式会社移動ロボット研究所による過酷な環境下でも使用できる狭隘空間先行調査型で装置や重量計測機器搭載ができる装置などの小型高踏破性遠隔移動装置、日立製作所による過酷環境下で使用可能な汎用性の高い通信技術、東芝に



CYBERDYNE社のロボット(二〇一二年撮影)

人間が入り込めない過酷な災害現場で災害状況の把握や機材の運搬、復旧活動を行うロボット技術の開発を行ってきた。プロジェクト終了後は委託先の企業や大学等が災害現場での実用性を高めるための課題に取り組むとしている。

株式会社移動ロボット研究所による過酷な環境下でも使用できる狭隘空間先行調査型で装置や重量計測機器搭載ができる装置などの小型高踏破性遠隔移動装置、日立製作所による過酷環境下で使用可能な汎用性の高い通信技術、東芝に

トラス室内部 遠隔検査

福島第一1号機

東京電力は福島第一原子力発電所1号機の格納容器の圧力抑制室(サブ

レスジョン・チェンバー)が入っているコンクリートで囲われた「トラス室」の内部を遠隔検査した第一日目の結果を二十一日に発表した。

十四日に原子炉建屋一階の床面に穴を貫通させ、二十一日に温度計熱電対と線量計、カメラを吊り下げて、室内に溜まっている水などの状況を調べた。

その結果、トラス室内に溜まっている滞留水の水位は、深さ約四・九

メートル、深さ約四・九メートルのトラス室内の中心部まで水に届いていた。透明度は約六十センチ程度。

トラス室内の構造物については、画像からは、さびなどは確認されたものの、構造物に大きな破損は確認されなかった、としている。

線量測定の結果は、原子炉建屋一階のフロア上では一・五mSv/時だったものが、トラス室内の下に下がるほど高くなり、水面の直上で九百二十mSv/時の最大値を示し、水面下に入ると再び水の遮蔽効果で線量は下がり始め、最下層近くで九十mSv/時となった。

燃料ラックに変形確認されず

福島第一3号機 燃料プール内を撮影

東京電力などは福島第一原子力発電所3号機の燃料プール内の状況を二

月六日に発生した燃料交換機マストの落下などによる燃料貯蔵ラックやライナ

堆積物)の状況を示す写真を二

月六日に発生した燃料交換機マストの落下などによる燃料貯蔵ラックやライナ

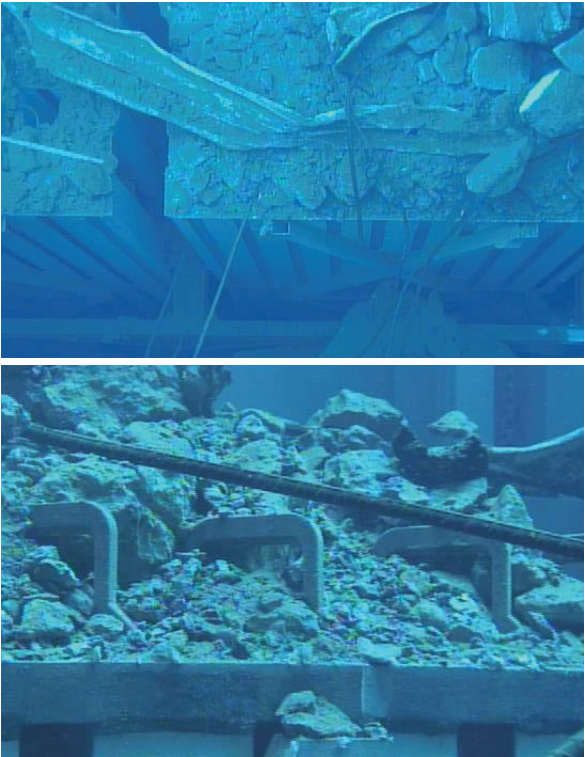
堆積物)の状況を示す写真を二

月六日に発生した燃料交換機マストの落下などによる燃料貯蔵ラックやライナ

堆積物)の状況を示す写真を二

月六日に発生した燃料交換機マストの落下などによる燃料貯蔵ラックやライナ

堆積物)の状況を示す写真を二



東京電力は福島第一原子力発電所1号機の格納容器の圧力抑制室(サブ

レスジョン・チェンバー)が入っているコンクリートで囲われた「トラス室」の内部を遠隔検査した第一日目の結果を二十一日に発表した。

十四日に原子炉建屋一階の床面に穴を貫通させ、二十一日に温度計熱電対と線量計、カメラを吊り下げて、室内に溜まっている水などの状況を調べた。

その結果、トラス室内に溜まっている滞留水の水位は、深さ約四・九

メートル、深さ約四・九メートルのトラス室内の中心部まで水に届いていた。透明度は約六十センチ程度。

トラス室内の構造物については、画像からは、さびなどは確認されたものの、構造物に大きな破損は確認されなかった、としている。

国会事故調での奇与評価

黒川氏 米国科学振興協会から受賞

黒川清・今回の受賞は、黒川氏が、国会の東京電力福島原子力発電所事故調査委員機構代表、原子力発電所事故調査委員、政策理事、研究大学院大学アカデミックフェロー/東京大学名誉教授/日本学術会議元会長は十五

日、米国科学振興協会(AAS)より、Scientific Freedom and Responsibility Awardを米国マサチューセッツ州ボストンで開催された第百七十九回AAS年次大会で授与された。

アジア圏からは初の受賞となった。

一九八〇年に創設された同賞は、科学ジャーナル「Science」発行などで知られる国際的非営利団体AASが、科学の自由と責任の発展に寄与する称賛すべき活動を行った科学者または団体に毎年授与している。



Leading Supplier of Nuclear Fuel Cycle Goods and Services



株式会社テネックス・ジャパン
TENEX-JAPAN Co.,

東京都港区虎の門5丁目11番2号 オランダヒルズ森タワー14F
(Tel):03-5776-1511 (Fax):03-5776-1512 (E-mail):info@tenex.co.jp